

『加藤 雄太 展 -時は寄る辺のない海にも似て-』

会期：2010年9月27日（月）～10月2日（土）

時間：11:00～19:00（最終日は17:00まで）

会場：ギャラリー・グラフィカ bis

〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-4銀座S2ビル1階

TEL 03-5550-1335 FAX 03-5550-1336

URL <http://www.gg-bis.com> E-mail info@gg-bis.com

● コメント

この度、銀座のギャラリー・グラフィカ bis にて、新作による個展を開催します。

今までは、地平線とおぼしき稜線で上下に画面を分割し、白で家を描く、というシリーズを展開してきましたが、今回は大きな変化を迎えます。

なによりも、こだわり続けた白いモチーフ（家）が登場しません。代わりに画面に現れてきたのは、舟や灯台です。

舟は、人生という大海原に行くその人自身を象徴します。たとえ、未来が見えず、ゴールが見えず、不安であっても、日々を歩み続ける他ありません。何の道しるべもなく、不安を抱えながらも、信じた方向へ進む。見回してみると、微かに見える灯台。目的地かもしれないし、導いてくれる存在かもしれない。

これは決して悲観的であったり、自分を見失うとか、そういったことではなく、むしろ、そのような大海原の中でも、私はこの小さな舟（自分）に乗って、漕いで行くんだ！という決意と気づき。そんな心境を表しました。

自分の気持ちを表現してはいますが、多くの人に当てはまる、何かしらの心境に当てはまる、そんな画面であると思うし、深い所で心を震わせることが出来ると思っています。

今回は過去最大サイズの、幅 260cm 以上の作品も展示予定です。

暑さも和らぐ頃の会期です。どうぞ、ご来場下さい。

● 内容

絵画、約 7～9 点



《旅する舟のように》 岩絵具、パネルに寒冷紗 91.0×116.7cm 2010年

● 略歴

1983 宮城県仙台市出身

2007 多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業

【個展】

2006 記憶の予感 /ギャラリー山口、東京

2007 記憶と予感を通して /ギャラリーひろば（「こころとからだの元気
プラザ」内）、東京

2008 微睡みの自我風景 /ギャラリー・グラフィカ bis、東京

2008 記憶と時間を巡って /ギャラリー山口、東京

2009 Private Landscape /ギャラリー・グラフィカ bis、東京

2010 美術評論家 中村隆夫企画 加藤雄太展 /ギャラリー溪、東京

【グループ展】

2006 全国絵画公募展 第24回 IZUBI /伊東市観光会館、静岡県

2006 日韓交流美術展 KOREA&JAPAN -HOPE IN BUSAN- THE LIFE

/釜山市立美術館、韓国

2008 第4回アート・ジャム展「人形」 /ギャラリー山口、東京

2008 新世代への視点 2008 小品展 (ギャラリー山口より出品)

/ギャラリーなつか b.p、東京

2009 第6回アート・ジャム /ギャラリー山口、東京

【受賞など】

2006 全国絵画公募展 第24回 IZUBI 「佳作」入賞